

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
疾病の成り立ち12							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・昼間部	3年	2期	大島 恒				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門基礎分野	疾病の成り立ち、予防及び回復の促進			座学	1	10	
科目概要							
鍼灸治療に訪れる患者様がかかえる病態に適切な施術を行うためには、かれらが訴える症状やその所見から疑うべき疾患を選び出し、それらを鑑別するための適切な診察することが重要である。疾患ごとにことなる原因や病態を理解し、その症状や所見についての知識を深めることは、患者様の病態を把握し、的確に疾患の鑑別をするうえで基礎となる。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標	臨床医学の各論として、脳血管疾患、感染性疾患、脳・脊髄腫瘍、基底核変性疾患、その他の変性疾患、認知症疾患、筋疾患、運動ニューロン疾患、末梢神経性疾患、神経痛、機能的疾患を理解する。						
	<b>到達目標(SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1.授業で取り上げる各疾患について、その原因を説明できること 2.授業で取り上げる各疾患について、その病態を説明できること 3.授業で取り上げる各疾患について、その症状・所見を説明できること 4.授業で取り上げる各疾患について、上記以外の特徴や注意すべき事柄を説明できること					
履修に必要な予備知識や技能							
疾病にいたる過程では、何らかの解剖学的あるいは生理学的な異常をもなっていることが多い。このため疾病の病態の理解には、解剖学、生理学、病理学で学んだ知識が不可欠である。							
教科書・参考書							
東洋療法学校協会編「臨床医学各論」医歯薬出版、大島恒著「臨床医学各論テキスト」自費出版							
受講上の注意							
授業で取り上げる疾患について、解剖学、生理学、病理学で学んだ知識にもとづいて病態を理解するように務めること。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	脳血管疾患①			236-239	配布プリント、筆記用具		
第2回	脳血管疾患②			240-242	配布プリント、筆記用具		
第3回	感染性疾患			243-247	配布プリント、筆記用具		
第4回	脳・脊髄腫瘍			247-252	配布プリント、筆記用具		
第5回	基底核変性疾患			252-257	配布プリント、筆記用具		
第6回	認知症			257-260	配布プリント、筆記用具		
第7回	筋疾患と運動ニューロン疾患			260-264	配布プリント、筆記用具		
第8回	末梢神経疾患			264-269	配布プリント、筆記用具		
第9回	神経痛と機能的疾患			269-274	配布プリント、筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
ooshima-t@nihonisen.ac.jp							